

第17回「私の愛する一点展」に寄せて

梅野記念絵画館友の会
会長 秋山 功

今年もまた、全国の会員の皆様のご協力の下、「私の愛する一点展」が開催されますことに、心より感謝申し上げます。美を愛する人々のための美術館をモットーに、小さいながら社会性を持つ美術啓発運動の一環として始められたこの企画展も、今やすっかり当館の夏の風物詩として定着して参りました。

全国の数ある美術館の中で、「蒐集もまた芸術である」として梅野隆前館長が個人コレクターに発表の場を与えてくれたことは、美術館の新たな在り方に一石を投じたものであり、美を愛する人々にとっても大きな励みになっています。その梅野隆前館長が亡くなられて、早6年の歳月が経ちました。今年は何回忌に当たります。その遺徳を偲び、志を引き継いで物故作家の顕彰や研究を続けている人に贈られる木雨賞も今回で4回目となります。さらに、この木雨賞とは別に今年度から「私の愛する一点展」を盛り上げるために幹事賞を設けてはどうかという提案が幹事会で出されました。幹事賞は現存物故を問わずその年に出品された作品の中から、選考委員会とは別に有志の幹事の目で見るとその幹事がよかったと思う作品に与える個人賞です。梅野記念絵画館のある東御市は、質の高い農産物や果物の産地であり、ワインを初め商品化した優れた品物もあります。それらを副賞として出すことで当館の隠れた魅力も併せて紹介できればよいと考えております。

ともあれ、今年度も全国の会員の皆様が選んだ名品が数多く出品されております。是非とも多くの方々にご高覧賜りますようご案内申し上げます。

■2017年展覧会スケジュール

7	8	9	10	10/4-9	11	12	1	2	3	4	5	6
大展示室	第17回 私の愛する一点展 7/2~9/24	第17回 私の愛する一点展 7/2~9/24	信美美術移動展	独立美術協会 東の雄 吉岡 憲 VS 西の雄 小出三郎 10/15~1/14	収蔵品整理のため休館	フェルディナンド・ホドラー展 2/15~3/31	市民ギャラリー 2/15~3/31	市民ギャラリー 2/15~3/31	市民ギャラリー 2/15~3/31	市民ギャラリー 2/15~3/31	未定	未定
ふれあい館	市民ギャラリー 7/2~9/24	市民ギャラリー 7/2~9/24	天空の芸術祭 9/30~10/31	ジル・サクシク展 11/5~1/14	市民ギャラリー 2/15~3/31	市民ギャラリー 2/15~3/31	市民ギャラリー 2/15~3/31	市民ギャラリー 2/15~3/31	市民ギャラリー 2/15~3/31	市民ギャラリー 2/15~3/31	未定	未定

変更となる場合もございます。

■2017年イベントスケジュール

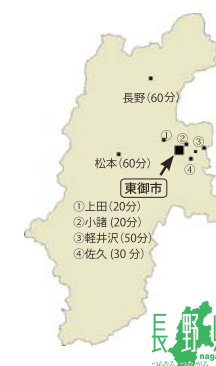
7/23(日)	木雨忌(菅野邦彦ジャズコンサート)	13:30~
8/8(火)	ワークショップ(動くクモの制作)	10:00~12:00
8/27(日)	マルーシカ お話の会(怪談話)	13:30~
9/10(日)	小山菜穂子朗読会	13:30~
9/30(土)~10/1(日)	火のアートフェスティバル	*変更となる場合もございます 詳細はお問い合わせください

■施設情報、開館案内

とうみし
東御市梅野記念絵画館 <http://www.umenokinen.com/>
〒389-0406 長野県東御市八重原 935-1
TEL0268-61-6161、FAX0268-61-6162、umenokinen@ueda.ne.jp
開館時間 午前9時~午後5時 (4時30分迄にご入館ください)
入館料 800円(高校生以上) 15名以上団体700円
身障者割引、学校利用減免、減額制度もあります。
休館日 7月3、10、18、24、31日 8月7、14、21、28日 9月4、11、19日

■アクセス

- お車** 練馬ICから2.5時間
- 鉄道** 東京から最速2時間
しなの鉄道「田中」下車、タクシー15分
- ◆関東、北陸方面から
上信越道東部湯の丸インターから15分
 - ◆関東、北陸方面から
北陸新幹線「上田」で、しなの鉄道乗換、田中下車。
 - ◆中部、関西方面から
長野道岡谷インターから新和田トンネル、R142号線経由で約1時間
 - ◆中部、関西方面から
特急しなの号利用「篠ノ井」で、しなの鉄道乗換、田中下車



第17回

私の愛する一点展

2017年
7月2日(日)~9月24日(日)

木雨忌(菅野邦彦ジャズコンサート)
7/23(日) 13:30~

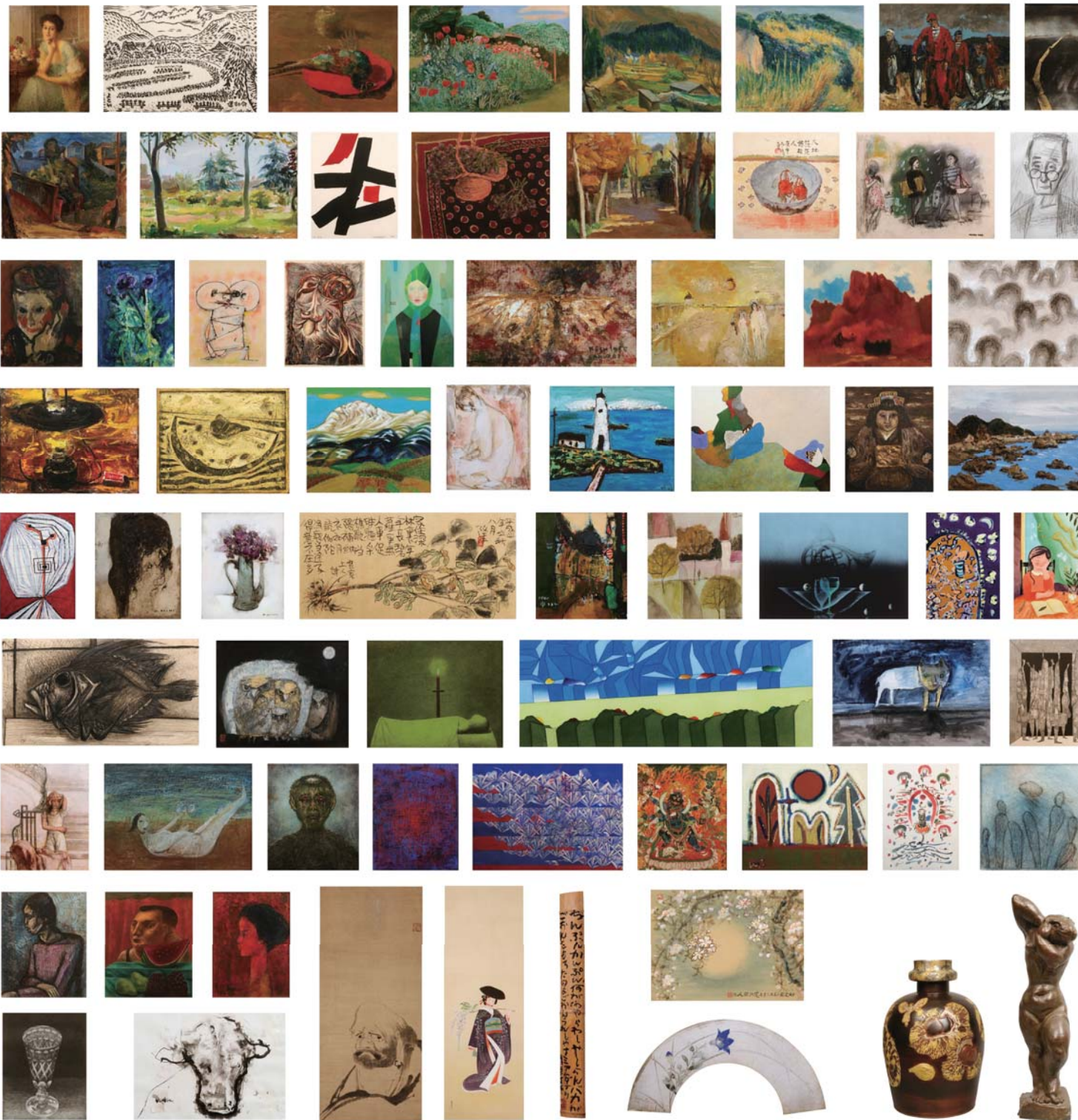
同時開催：市民ギャラリー



〒389-0406 長野県東御市八重原 935-1 TEL0268-61-6161

地域の情報をラジオで発信!
エフェムとうみ 78.5MHz

リクエスト、メッセージは
m@fomtomi785.jp



第17回展を迎えて

東御市梅野記念絵画館
館長 佐藤 修

「〇〇コレクション展」と銘打った大コレクターの展覧の例はあっても小コレクターの持つ作品が世に問われたことはない。しかし前回の『私の愛する一点展』が、高額、高名でなくとも、その質の高さとコレクターの熱い思いを綴ったメッセージとがまって、多くの参観者に強い感動を与えたことは事実であった。——友の会の初代会長・中村文俊さんが、「私の愛する一点展」第2回展の開催に寄せての挨拶文です。

私は、初代会長のこの言葉をときどき紐解き、たびごとに思いを新たにします。「一点展」開催の意義がここに的確に語られていると思うからです。今年も「私の愛する一点展」が開催展示されます。お蔭様で17回展を迎えました。ここまで長く続くとは梅野さん自身も予想しなかっただろうと思います。お蔭様で、今年も69点の作品が寄せられました。今回も含めて出品された作品総数は1186点にいたりました。数字を見るとその多さにたじろぎそうです。ともかく、どこにもない展覧会です。「初心忘るべからず」を肝に銘じて、これからも続けてまいります。

出品作家

青木鐵夫、青山義雄、秋田義一、芥川紗織、雨田光平、新井狼子、石野容三、岩田道夫、上原正三、梅野 亮、梅野木雨、瑛 九、エルネスト・ローラン、大原瑩子、岡村宇太郎、小倉尚人、織田広喜、小貫政之助、笈本生、北村 脩、楠 瓊洲、久保 守、久米慶子、黒沢良子、近藤克美、近藤光紀、櫻井陽司、佐藤 徹、柴田一昭、島村洋二郎、滝原章助、田島隆夫、田中康夫、棚橋文子、谷澤 鋭、辻村史朗、坪内節太郎、鶴岡政男、伝・宮本武蔵、冬青 小林勇、中野真典、林 重義、林 俊衛、秀島由己男、日向 裕、平澤喜之助、藤川 栄子、藤山ハン、二見彰一、堀内康司、牧野虎雄、松下春雄、松田正平、水谷眞一、宮坂房衛、村井正誠、山崎豊三、山内若菜、山村昌明、横井弘三、わたなべ ゆう、和田義彦